

令和4年度 西日本地区会 開催

令和5年3月10日、岡山市北区 杜の街グレース オフィススクエア3階貸会議室において、西日本地区会（代表幹事：采女 一憲/(株)両備システムズ 専務取締役）が例会を開催した。参加者は21名。



船越真樹副会長から「今年は3年ぶりに地区会をリアルな場で開催することができ、とても嬉しく思う。本日は皆様と活発に交流をしたい。」と開会挨拶があり、続いて、采女代表幹事から「コロナ禍においてDXは進化したと認識している。本日は経済産業省からのデジタル政策に加え、クラウドやセキュリティ分野の事例もあわせて紹介したい。」と挨拶があった。

まず、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課ソフトウェア・情報サービス戦略室 課長補佐 沖藤圭祐氏から「デジタル産業への変革に向けた政策展開～DXレポート2.2の解説～」について説明があった。

次に、宮本武史副会長・専務理事が、NTC（National Training Center）プロジェクト、はやぶさプロジェクト、政策セミナー、情報サービス業界のビジネスモデル進化に向けたロードマップなど、JISAの活動について報告があった。

休憩を挟んで、西日本地区の会員企業2社による事例発表が行われた。

(株)両備システムズ クラウドビジネスカンパニー シニアエキスパート 水川 一志氏は、「現場で簡単作成!クラウドを活用したデータ収集」と題した講演があり、Kintoneと連携したソリューション事例について紹介があった。

続いて、(株)BCC クラウドサービス事業本部の部長 奥 新一郎氏からは、「BCCのセキュリティービジネスの取り組み」と題した講演があり、IPAの「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の紹介とともにセキュリティーサービス事業について説明があった。

